

1. COC集中講義「ふくいを知る・見る・考える」を開講
2. あわら市との包括的連携協定を締結
3. 福井大学公開講座「福井大学発 地域の再生・活性化」を実施
4. COC+の採択を受け記者発表を実施

ニュースレター

<発行> 福井大学 COC 推進機構

1. COC集中講義「ふくいを知る・見る・考える」を開講

9月15日から18日まで、COC事業の地域を志向したカリキュラムの1つとして、共通教育科目「ふくいを知る・見る・考える」を開講しました。

講義は、地域の歴史、文化、自然を知るとともに、地域が抱える諸課題に対して関心を持ち、地域をフィールドとして自ら学び、地域社会のさまざまな人との積極的な触れ合いなども通して通常の授業では学べないことを地域と協働して主体的に学ぶことを目的としています。講義はオムニバス形式で、学長、副学長を始め、COC事業に携わっている教員に加えて地域で活動している方々を外部講師として迎え、1年生を中心に、120名の学生が受講しました。

初日の講義では、「地(知)の拠点(COC)事業とは？」をテーマに、眞弓光文学長が「皆さんを取り巻く社会情勢と福井大学COC事業」の講義を皮切りに、岩井善郎副学長(地域貢献等担当)、上田孝典副学長(企画戦略担当)、寺岡英男副学長(教育・学生担当)がそれぞれの専門分野に関連して、「産業」、「医療」、「教育」について、福井の状況や特徴的な取組を紹介するとともに、問題提起をしました。2日目からは、教員や外部講師が、「ふくいの歴史・文化・伝統工芸」、「ふくいの自然・環境」、「ふくいの将来」の各テーマに基づき、それぞれ活動している分野での背景や取組などについて講義を行いました。

学生は、今回の講義により、ふくいの特色や強みを理解するとともに、地域で活動している多種多様な方々の話を聞くことが出来、自らの学修に役立て、主体的に地域の課題を発見し解を見いだす能力を身につける機会となりました。



講義を行う岩井理事



学外講師による講義

2. あわら市との包括的連携協定を締結

7月21日、あわら市と包括的地域連携協定を締結しました。

少子高齢化問題が深刻化する中で、地域と連携し、優れた人材を育成するためにも相互協力が必須であり、また地域に軸足を置く国立大学法人として地域の発展に貢献するため、包括的な協定を結ぶこととなりました。

協定書を交わした橋本達也あわら市長は、「これからのあわら市は、北陸新幹線の延伸によるJR芦原温泉駅を中心としたまちづくり、人口減少に歯止めをかける取組が重要な位置づけにある。今後は、学生さんたちの若い力を活かし、県内を活性化してほしい。大学からもご支援やご意見を伺いたい。」と話し、眞弓光文学長は、「少子高齢化が進む中、地域の力を借りて、優れた人材の育成、科学的価値のある技術の創出、医療福祉に関する取組を共に頑張っていきたい。」と意向を述べました。



協定書を手にする橋本市長(右)と眞弓学長(左)

3. 福井大学公開講座「福井大学発 地域の再生・活性化」を実施

福井大学公開講座「福井大学発 地域の再生・活性化」を実施しました。

この講座は「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」における地域志向教育研究の成果を一般に公開し、福井大学で展開している「地域の課題解決による再生・活性化」「学生の主体的な学びを促進し地域志向の人材を育成」を軸とする地域貢献に関する事業を紹介することを目的に、今年度から実施したものです。

地域の防災や超少子化社会における子どもの健やかな成長に向けた取組など地域の課題に関するものや、タイに留学した福井大学の学生が主体的に学ぶ様子などが紹介され、興味深い話に受講者も聞き入っていました。

- 第1回 8月22日 「若狭湾に津波襲来の可能性を探る…地域の安全安心のために…」
地域環境研究教育センター 山本博文教授
- 第2回 9月26日 「子どものこころの発達研究センターの取組みについて
～生きる喜びに溢れた子どもたちの笑顔を目指して～」
子どものこころの発達研究センター 友田明美教授
- 第3回 10月3日 「地域における原子力防災の取組み」
附属国際原子力工学研究所 安田仲宏教授
- 第4回 10月31日 「産学官民連携による福井の活性化
～タイの地域医療、経済、大学教育から学ぶもの」
産学官連携本部 竹本拓治准教授



講演する友田教授



講演する竹本准教授

4. COC+の採択を受け記者発表を実施

福井大学は、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)^{プラス}」の採択を受け、9月29日に記者発表を行いました。

発表で眞弓光文学長は「採択を機に、産学官金で地方創生に向け、総力をあげ、中心を担っていく所存である。これからも地域に必要な人材を育成していきたい。」と意欲を示しました。記者からはCOC+における取組について多くの質問が寄せられ、関心の高さが伺えました。

COC+では、本学のこれまでの地域を志向した教育や研究を活かすとともに、福井県内の全ての4年制大学(福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、敦賀市立看護大学)を参加校として、福井県や商工会議所、企業等と連携し、地域と一体となって地域創生に取り組んでいきます。そのために、福井県の特徴や産業を活かした教育やインターシップの高度化、「ふくい地域創生土」の認定制度など福井を志向した教育カリキュラムの充実を図ることとしています。



記者会見でスクラムを組む5大学などの関係者

<編集後記>

10月18日に開催した「福井大学きてみてフェア2015」には1,150名の地域住民の方に参加いただきました。当日は福井大学と連携する12自治体(福井県・福井市・敦賀市・大野市・勝山市・鯖江市・越前市・坂井市・あわら市・永平寺町・美浜町・高浜町)が、連携事業の紹介や地域ブランドに関する出展を行い、PRしました。自治体の職員の方からは「多くの方に来場してもらい、効果的なPRを行うことができた。」、また来場者からは「福井県に居ながら、今まで知らなかった観光スポットなどを知ることができた。家族で行ってみたい。」という声が聞かれました。

今後この様な取組を通じて、自治体・地域住民との距離感を縮め、地域との連携を深めていきたいと思います。(嶋田)



国立大学法人 福井大学

COC推進室

Office for the Center of Communities

〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1

TEL.0776-27-9879 / FAX.0776-27-8878

http://coc.ad.u-fukui.ac.jp E-mail coc@ad.u-fukui.ac.jp

